

新年挨拶会



2月3日に宮崎観光ホテルにて新年挨拶会を実施しました。本年度はご来賓の方、来訪JC、シニアの先輩方、現役メンバーを含めて250人のご参加をいただき、近年では最多の人数での開催となりました。また太鼓同好会のパフォーマンスも行われ、新年の始まりを告げました。

理事長所信では今年の青年会議所の活動の方向性をしっかりと発信されました。そして今年のスローガンである「全員力」のもと、宮崎青年会議所全員で1年間を全力で邁進していきます。

また懇親会ではシニアの先輩方との交流で絆を深めることができ、我々現役メンバー一同改めて気が引き締まる思いでした。



会員拡大報告

1月~3月

2024年12月9日、理事長大号令を皮切りに2025年の会員拡大がスタートしました。全体事業として位置付け【やっちゃんぞ40】をテーマに40名の目標を掲げました。本年度は「ひとりの力が宮崎を変える。あなたの参加がその始まり。」をキャッチコピーとした4回の「入会相談会・懇親会」を開催し、お食事を交えながら名刺交換や宮崎JCの魅力・活動内容の共有を行いました。本年度は40名には力及ばず33名の会員拡大となりました。目標に達しなかった点の振り返りと次年度への提言をしっかりと行い、4月からは会員育成期間へと移行するので、最後までアフターフォローを行いつつ未来のリーダーの育成に精進してまいります。



2月例会メインアワー

2/27

2月27日に市民文化ホールにて、2月例会メインアワー「ブロック会長公式訪問」を実施しました。公益社団法人日本青年会議所九州地区宮崎ブロック協議会 会長 吉行 輝真君を始めとする会務役員の皆様にお越しいただきました。

宮崎JCからは、監査担当役員として児玉真吾君、副会長として甲斐智大君、運営専務として二宮雅和君が出席しております。今年度の宮崎ブロック協議会の活動内容をご説明いただきましたが、内容に興味を持ちその場で出向を決める宮崎JCメンバーもいて、とても良い機会となりました。また、今年は日向の地でJCフェスタが開催されます。開催が宮崎県内ということもあり、非常に参加しやすい渉外事業となるため、卒業生と思い出を作るためにも宮崎JCメンバー一同積極的に参加したいと思います。



みやざき



新年度のご挨拶

【事業報告】

1月例会・京都会議・福岡ソフトバンクホークス交流事業など
新年挨拶会レポート

contents 2025年度が始動



■ 企画・編集・発行

JC News Miyazaki / Vol.677 2025 SPRING

一般社団法人 宮崎青年会議所 パブリシティ委員会

〒880-0865 宮崎市松山1-12-7大春ビル3F TEL:0985-28-2522 FAX:0985-28-2466

一般社団法人 宮崎青年会議所は持続可能な開発目標SDGsを支援しています。

サポテ

～現役JCの皆さんへ～OBからのメッセージ

まだまだ寒い日が続いていますが、皆様体調などは崩されていませんか。私はJCを卒業してまだ1年も経っていませんが少しJCロスを感じてきております。短い時間ではございましたが多くの仲間や先輩達とさせていただいた経験や多くの方との出会いを通じて自身が成長できたなと感じております。

現役の皆様もお仕事とJC活動の両立でお忙しい時間を過ごされていると思いますが、その時間、経験はその時にしかできないことですので大切に過ごされてください。皆様の活躍を見守っております。ありがとうございました。

01

理事長挨拶



明るい未来への道を
全員で創ろう



一般社団法人 宮崎青年会議所
第74代理事長
野村 翔悟

皆さま、こんにちは。改めまして本年度、理事長を務めております野村翔悟です。

1月に本年度がスタートして早くも4ヶ月が経過し、私たちの活動も本格的に動き始めました。本年度のスローガンである「全員力」のもと、会員一人ひとりが力を合わせ、宮崎の未来を切り拓くために尽力しております。

これから、いよいよ対外事業が本格化します。地域の皆さまと共に、宮崎のまちづくり、次世代の育成、そしてより良い社会の実現に向けた活動を進めてまいります。私たちJCの活動は、決して一人では成し遂げることができません。メンバー同士の結束はもちろんのこと、地域の皆さまや行政、企業の皆さまとの連携が不可欠です。

私たちは、SNSやメディアを通じて、日々の活動を積極的に発信してまいります。是非、私たちの取り組みに関心を寄せていただき、時にはご意見をいただきながら、共に宮崎の未来を創っていただければと願っております。

本年度も12月まで全力で駆け抜けます。引き続きのご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。



宮崎JCシニアクラブ
第64代会長
羽田野 信悟

02

シニアクラブ会長メッセージ

宮崎青年会議所令和7年度シニアクラブ会長の羽田野信悟でございます。シニアクラブの皆様におかれましては、宮崎青年会議所並びにシニアクラブへ対しまして、常日頃より一方なるご厚情を賜りまして誠にありがとうございます。

宮崎の地に青年会議所の灯が灯って来年で75年、シニア会員数も約500名となりました。これもひとえに先輩方の熱い思いと仲間を大切にす友情のなせるものではないかと思っております。

わたくしのJC歴は5年間と現役歴は短いのですが、JCとしての考え方、経験、そしてなにより現役時代に培った仲間との友情は何ものにも代えがたいものであります。先輩方がよく言われます現役を卒業してからが本番！卒業をすると現役の皆さんとの距離が遠くなってしまいますが、時々に見かけるJC事業及びイベントでの太鼓等を目にするると経済環境の変化が厳しい中、一人ひとりが頑張っていると思う次第です。今後も現役の皆さんとシニアクラブの世代を超えた交流が新たな出会いとなることを望みます。

結びに、微力ながらシニア会会長として一層の努力をしまいる所存ですので、先輩諸兄のシニアクラブへのご理解・ご協力を賜りながら、宮崎青年会議所現役の皆さんのご支援・ご指導をお願い申しあげ、ご挨拶とさせていただきます。



公益社団法人日本青年会議所
九州地区 宮崎ブロック協議会 会長
吉行 輝真

03

ブロック会長挨拶

一般社団法人宮崎青年会議所の皆様におかれましては、日頃より宮崎ブロック協議会の事業へのご協力を賜っておりますこと御礼申し上げます。本年度、宮崎ブロック協議会では「希望あふれる理想を描き、未来を変えたのだと誇れる宮崎へ」の基本理念のもと活動を展開させていただいております。

本年度、最も力を入れる運動としましては、宮崎県の更なるインバウンド強化に関する事業となります。日本では8兆円規模のインバウンド市場ですが、宮崎県では80億円ほどであり九州では最下位となっております。県内外の多くのステークホルダーを巻き込み、宮崎県に未来を創り出すための新たなうねりを生み出しております。また、防災事業ではこれまで全LOM統一であった防災対策から、沿岸部・内陸部に分けた対策を講じます。南海トラフ大地震の際に、JCのネットワークが最大限に発揮できる環境を構築してまいります。

そして、対内では現会員(宮崎ブロック内)の68%余りがアカデミー会員となっているのが現状です。ブロック協議会として、JCの良さを伝えるとともにLOMの垣根を超えた友情が育まれる事業を展開する予定です。

引き続き、宮崎ブロック協議会に対しご協力のほどよろしくお願いいたします。

1/9

1月例会メインアワー

1月9日に宮日ホールにて1月例会メインアワー「拡大講演会」を実施しました。

初めに、人財成長拡大委員会 小鹿倉委員長より拡大準備期間の総括を行い、今後の拡大活動に向けての想いを全メンバーに発信しました。次に、日本青年会議所 シニア・クラブ 拡大支援委員会 木村 優一先輩より拡大講演会を行っていただきました。木村先輩のこれまでの拡大活動に加えて、拡大活動に対する熱い想いをお話いただきました。

理事長が想いを発信し、メンバー全員の心をまとめ拡大事業を進めることや拡大事業の本質をメンバーに問い、メンバー各人が拡大事業について理解を深めることができました。

講演会で学んだことを生かし、本年度のスローガンである「全員力」で拡大事業を進めていきたいと思っております。



1/23~
1/26

京都会議



1月23日～1月26日に京都会議が開催されました。宮崎JCからは、近年では最多の61名が参加し、多くのメンバーが学びの機会を得ました。公益社団法人日本青年会議所 主権者意識向上委員会 委員長として出向している金本 純一君におかれましては、理事会にて無事に議案が審議通過し、喜びと事業実施に向けて気持ちが高まる時間となりました。

また、地区ナイトでは九州コンファレンス主管締結式が開催されました。今年は延岡JCが主管となり、延岡の地で九州コンファレンスが開催されます。宮崎JCも副主管LOMとなりますので、最高の九州コンファレンスとなるよう全力で協力していこうと思っております。

また、北野 武氏を迎えたフォーラムが開催され、「理想を掲げて、行動する、挑戦する」ことについて日本JCの外口会頭とトークセッションが行われました。

宮崎JCも1年間、「全員力」というスローガンのもと、理想を掲げて行動し、多くの挑戦をしていきたいと気持ちを新たに宮崎への帰路へとつきました。

福岡ソフトバンクホークス交流事業



2月1日、福岡ソフトバンクホークス交流事業を開催いたしました。

昨年と同様、生目の杜運動公園内体育館での開催となり、ウィズユー放課後デイサービス様、民生館様、みやざき中央支援学校様から生徒を招待し、宮崎JCメンバーのお子様も含め参加者は総勢61名となりました。福岡ソフトバンクホークス様から周東選手や津森選手ら6名ご参加いただきました。選手が体育館に入ってきた瞬間、大きな歓声と拍手に包まれました。

交流会としては、初めに全体の前で選手によるキャッチボールを披露いただきました。間近で見るとプロ野球選手のボールを参加者は食いつくように見ていました。

次に、選手と参加者が6グループに分かれて、ボール運びゲームや障害物リレーなど行いました。選手と参加者が作戦会議を行い、チーム全体で協力してゲームにチャレンジすることでチームとしての一体感や達成感を感じていただきました。

選手たちと直接ふれあい、笑顔の絶えない1時間半となり、参加者にとって貴重な経験となりました。次年度以降もこの事業が継続し、1人でも多くの子供たちを笑顔にすることができればと思っております。

2/1